

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2023年4月28日

都道府県知事 殿

病院名 帝京大学医学部附属溝口病院
開設者 学校法人 帝京大学
理事長 冲永佳史

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号1から27までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から38までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030268

臨床研修病院の名称： 帝京大学医学部附属溝口病院

記入日：西暦 2023年 4月 28日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030268	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 帝京大学医学部附属溝口病院 番号 0302681
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ アミノ ヨシヒサ 氏名(姓) 網野 (名) 慶久	役職 総務課 課長 (内線 3490) (直通電話 (044) 844 — 3490) e-mail : y-amino@teikyo-u.ac.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ テイキョウダイガクイガクブフゾクミゾノクチビョウイン 帝京大学医学部附属溝口病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 213-8507 (神奈川県・道・府・県) 川崎市高津区二子5-1-1 電話：(044) 844 — 3333 FAX：(044) 844 — 3201 二次医療圏 の名称： 川崎北部		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ガッコウホウジン テイキョウダイガク 学校法人 帝京大学		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 173-8606 (東京都・道・府・県) 板橋区加賀2-11-1 電話：(03) 3964 — 1211 FAX：() —		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ハラ マスミ 姓 原 眞純		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://teikyo-mizonokuchi.jp/		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030268

臨床研修病院の名称： 帝京大学医学部附属溝口病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 175 名、非常勤（常勤換算）： 15.2 名 計（常勤換算）： 190.2 名、医療法による医師の標準員数： 41 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日： 西暦 2020 年 7 月 9 日、告示番号： 第 187 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	①. 有（176.170）m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 9,143 件（うち診療時間外： 6,785 件） 1日平均件数： 25.0 件（うち診療時間外： 18.6 件） 救急車取扱件数： 5,966 件（うち診療時間外： 3,608 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 9 名、看護師及び准看護師： 5 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系（①. 有 0. 無） 外科系（①. 有 0. 無） 小児科（①. 有 0. 無） その他（整形外科、麻酔科、脳神経外科、脳神経内科、放射線科）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 400 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度のの前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度のの前年度分、研修医の数は届出年度のの次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 10.3 日、2. 精神： 0.0 日、3. 感染症： 0.0 日 4. 結核： 0.0 日、5. 療養： 0.0 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 144 件、異常分娩件数： 134 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 10 回、今年度見込： 10 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 18 件、今年度見込： 20 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ①. 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	①. 有（単身用： 2 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	①. 有（ 2 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（ 394.720 ）m ²
	医学図書数	国内図書： 17,495 冊、国外図書： 8,682 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 254 種類、国外雑誌： 245 種類
	図書室の利用可能時間	0：00 ～ 24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（①. 有 0. 無）、 その他（ ） 利用可能時間（00：00 ～ 24：00）24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（①. 有 0. 無）、 その他（ ）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030268

臨床研修病院の名称： 帝京大学医学部附属溝口病院

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職	ツガナ タナカ エミコ		
		氏名(姓) 田中	氏名(姓) 田中	
		役職 病歴室 課長補佐		
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)		
	診療録の保存期間	(15) 年間保存		
	診療録の保存方法	1. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に:)		
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況	①. 有 (2 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。		
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 (4) 名、兼任 (23) 名 主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 1) 医療事故の防止と万が一事故が発生した場合、患者の保護及び調査分析について 2) 医療事故防止の為にマニュアル整備、自己点検の実施、教育、広報 等		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： ツガナ ミヤウチ カヨコ		
		氏名(姓) 宮内	氏名(姓) 宮内	
		役職 医療相談室 課長		
		対応時間 (8 : 30 ~ 17 : 00) 24 時間表記		
		患者相談窓口に係る規約の有無： ①. 有 0. 無		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①. 有 0. 無 指針の主な内容： 1) 本院安全管理の指針は、医療事故の発生防止と万が一発生した場合、患者の保護および医療事故の調査分析を速やかに行い、さらなる再発の防止のために、病院管理者および職員個人の心構え、業務、責任を明確にし、各部署の事故防止のためのマニュアル整備、自己点検の実施、教育、広報等を行うものとする。 2) 医療事故安全管理対策委員会は、上部組織の安全管理対策委員会と下部組織のMRM委員会で構成され、安全管理対策委員会ではMRM委員会を指揮し、日常的な事故発生防止の防止を努めると同時に事故防止の教育の徹底・院内巡視・点検などあらゆる方策を講じる。		
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (24) 回 活動の主な内容： 1) 医療事故の防止と万が一事故が発生した場合、患者の保護及び調査分析について 2) 医療事故防止の為にマニュアル整備、自己点検の実施、教育、広報 等		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (3) 回 研修の主な内容： 「麻薬及び向精神薬取締法に基づく薬品管理について」、「院内のインシデント・アクシデント報告」、「診療用放射線の安全利用のための研修」、「～事例から学ぼう～最近の院内事例をもとに。」、「栄養部におけるインシデントレポートの報告」、「医療ガスに関わるインシデント・アクシデント事例」		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： マニュアルの整備、自己点検、教育、研修会 等			
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)	修了： 9 名 中断： 0 名			
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)		前々年度	前年度	当該年度
	1 年	9	10	10
	2 年	11	9	10
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (400) 床 ÷ 10 = (40) 名		
	患者数から算出	年間入院患者数 (11,280) 人 ÷ 100 = (112.8) 名		
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置	1. 精神保健福祉士： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名)			

<p>状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。</p>	<p>2. 作業療法士： 0名（常勤： 0名、非常勤： 0名）</p> <p>3. 臨床心理技術者： 0名（常勤： 0名、非常勤： 0名）</p> <p>9. その他の精神科技術職員： 0名（常勤： 0名、非常勤： 0名）</p>
<p>24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入)</p>	<p>1. 有（評価実施機関名： (年 月 日)) ◎. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 1. 有 0. 無</p>

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030268

臨床研修病院の名称： 帝京大学医学部附属溝口病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			* 別紙5に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1年次研修医(0)名 2年次研修医(0)名 男性 1年次研修医(0)名 2年次研修医(0)名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 (①. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (8時00分 ~ 18時00分) 病児保育 (1. 有 ①. 無) 夜間保育 (①. 有 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (①. 可 0. 不可)
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (①. 有 0. 無) その他の補助(具体的に:)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (①. 有 0. 無) 授乳スペース (①. 有 0. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入(院外との連携した取組もあれば記入)		()
	研修医のライフイベントの相談窓口		①. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入(総務課人事係 ・ 教育委員会) 窓口の専任担当 1. 有(名) ①. 無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入(総務課人事係) 窓口の専任担当 1. 有(名) ①. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称： プログラム番号： _____
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1年次： 名、2年次： 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ 氏名(姓) (名) 所属 役職 電話：() — FAX：() — e-mail： URL：http://
	資料請求先		住所 〒 □□□ — □□□□ (都・道・府・県) 担当部門 担当者氏名 フリガナ 姓 名 電話：() — FAX：() — e-mail： URL：http://

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： _____

臨床研修病院の名称： _____

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） (基幹型・協力型記入)	健康管理	健康診断（年 回） その他（具体的に _____）
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（1. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 0. 任意）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：1. 可 0. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無（1. 有 0. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 時 分 ～ 時 分）
		病児保育（1. 有 0. 無） 夜間保育（1. 有 0. 無）
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か（1. 可 0. 不可）
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. 有 0. 無）
		その他の補助（具体的に： _____）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所（1. 有 0. 無） 授乳スペース（1. 有 0. 無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（ _____ ）
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ _____ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ _____ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）	1. 有 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式6に記入	

※欄は、記入しないこと。
と。